

「文化財 IPM コーディネータ」資格の創設について

平成23年度に公益財団法人文化財虫菌害研究所では「文化財 IPM コーディネータ」資格を創設しました。

近年、博物館、美術館、図書館、資料館、文書館等においては、薬剤に頼るだけでなく適切な環境管理をあわせて行うことによって虫菌害を防除する IPM（総合的有害生物管理）が推奨されています。

文化財に関する IPM は、主に清掃・温湿度調整などの環境管理による物理的防除と薬剤や炭酸ガスなどを用いた化学的防除を合理的に組み合わせて行い、文化財に加害する害虫をなくし、カビによる文化財への目に見える被害を防止することを目指すものです。

このような「文化財 IPM」の具体的な方法・作業は、対象となる文化財の種類や収蔵・展示施設の状況などによってさまざまですから、これを継続して適切に行っていくためには博物館・美術館・図書館等において展示、収蔵品の保管・管理、施設の維持・管理に携わる方、それらの業務を支援するボランティア、文化・文化財行政担当者および文化財に関する生物被害防除業務に携わる方等で、それぞれの立場で自ら「文化財 IPM」を実行したり、文化財の所蔵者等からの相談に応じて助言・提案などをしたりすることができる人材（「文化財 IPM コーディネータ」）が必要であると考えられます。

「文化財 IPM コーディネータ」は、虫やカビあるいはそれらの調査法・防除法・施設管理などについての正しい知識・技能を身につけていることが必要ですが、それらのすべてに関する専門家であることを必要とするものではなく、それらの概要および「文化財 IPM」全体についての正しい理解のもとに必要なときに各分野の専門家と相談しながら適切に「文化財 IPM」を進めていくことができる人を考えています。

当研究所では、この「文化財 IPM コーディネータ」の人材育成とともに「文化財 IPM」の普及をめざして、講習・研修・試験を経て一定のレベルに達した方については「文化財 IPM コーディネータ」資格認定をしております。「文化財 IPM」に関する業務に従事されている方、関心をお持ちの方多数のご参加をお待ちします。

「文化財 IPM コーディネータ」資格の概要

資格登録までの手続、要件等は次のとおりです。

■講習・研修および試験

「文化財 IPM コーディネータ資格取得講習会」を2日間受講し、「文化財 IPM コーディネータ資格取得試験」を受験します。試験に合格し、合格後の2年間に開催する「文化財の虫菌害・保存対策研修会」を受講することで資格の申請ができます。試験に合格する前に研修会を受講しても、要件となりませんのでご注意ください。

■登録等

上記の要件を充足し、申請により「文化財 IPM コーディネータ」資格を認定し登録し、「文化財 IPM コーディネータ証」を交付します。

■更新

「文化財 IPM コーディネータ」資格は、5年ごとの登録更新が必要です。登録更新は、事前（更新を要する日の前2年以内）に「文化財の虫菌害・保存対策研修」（例年6月頃行われているもの）を受講していることを要件とします。

■受講料等

講習・試験・研修・登録および登録更新の手数料は次のとおりです。

「文化財 IPM コーディネータ資格取得講習会」	受講料：20,000 円（会員は 18,000 円）
「文化財の虫菌害・保存対策研修会」	受講料：28,000 円（会員は 25,000 円）
「文化財 IPM コーディネータ資格取得試験」	受験料：5,000 円
「文化財 IPM コーディネータ」	登録料：5,000 円
「文化財 IPM コーディネータ」	登録更新料：5,000 円

第9回文化財 IPM コーディネータ資格取得のための講習会と試験

- 主催** 公益財団法人文化財虫菌害研究所
- 協力** 東京国立博物館、東京文化財研究所
- 後援** 公益財団法人日本博物館協会
- 時期** 令和元年12月4日（水）～6日（金）
- 会場** 講習：東京文化財研究所 セミナー室
試験：東京国立博物館黒田記念館・東京文化財研究所 会議室
- 対象** 博物館・美術館・図書館・資料館・文書館等において展示、収蔵品の保管・管理、施設の維持・管理に携わる方、それらの業務を支援するボランティア、文化・文化財行政担当者および文化財に関する生物被害防除業務に携わる方等
- 定員** 90名
受講・受験希望者が定員を超える場合は、現在、上記6の方等を優先し、あるいは同一団体から複数の希望者がある場合は人数調整をお願いする等により最終的な受講・受験者を決定することとしますので、ご承知おきください。なお、一団体から2名以上希望する場合は、予め優先順位を決めて希望書を提出してください。
- 講習・試験の日程と内容**
裏面のとおり
- 受講料・受験料**
受講料 20,000 円
当研究所維持会員（団体会員所属役職員を含む）は、18,000 円です。
受験料 5,000 円
- 希望申込受付**
 - 令和元年10月8日（火）まで（厳守）に「受講・受験希望書」（別添）に所定事項を記入して FAX または郵便で下記へお送りください。
〈受講・受験希望書送付先〉
〒160-0022 東京都新宿区新宿二丁目1-8 新宿フロントビル6階
公益財団法人文化財虫菌害研究所
電話 03(3355)8355 FAX 03(3355)8356
 - 希望者の中から当研究所で受講・受験者を決定し、10月中旬までに受講・受験の申込み方法等を通知します。（今回受講・受験していただくことができない方にもその旨を通知します。）
 - 本資格の正式な登録には、本講習会の受講と試験の合格後に「文化財の虫菌害・保存対策研修会」（令和2年度、令和3年度実施のもの）の受講が必要です。

第9回文化財IPMコーディネータ資格取得のための講習会と試験

12月4日(水)	13:00~	開講の辞
	13:05~14:05	文化財のIPM概論 IPM(総合的有害生物管理)の成り立ち、文化財における生物被害防除の歴史、「文化財IPM」の定義など、「文化財IPM」を進めるにあたって考え方の基礎になることをお話しします。 公益財団法人文化財虫菌害研究所 理事長 三浦定俊
	14:05~14:20	休憩
	14:20~15:20	IPMから見た博物館等の施設管理 展示室、収蔵庫では虫がいないこと、カビによる目に見える被害がないことを目指し、博物館等の建物において実施可能な抑止技術と管理方法について解説します。 東京文化財研究所 保存科学研究センター長 佐野千絵
	15:20~15:35	休憩
	15:35~16:35	温湿度環境の測定と解析 博物館・美術館・図書館における温湿度の測定と最適な展示収蔵環境を維持するための空調のしくみについて説明します。 東京文化財研究所 保存科学研究センター前客員研究員 呂俊民

会場 講習：東京文化財研究所 セミナー室
試験：東京国立博物館黒田記念館・東京文化財研究所 会議室



12月5日(木)	10:00~11:00	文化財の生物被害と加害生物およびレベルコントロールについて 文化財の生物被害対策を無駄なく適切に行うためには、加害生物に関する知識が欠かせません。また、本講義では文化財のおかれた環境のと劣化の速度についてもお話しします。 九州国立博物館 博物館科学課長 木川りか
	11:00~12:00	虫の調査と環境の解析 文化財IPMの考え方により文化財を生物劣化から守るために、文化財に加害する虫について生態、被害の発見、調査方法および改善計画が必要です。ここでは、虫の種類、発見、調査およびまとめ方を理解し予防管理への手順を勉強します。 一般財団法人環境文化創造研究所 主席研究員 川越和四
	12:00~13:00	昼休み
	13:00~14:00	カビの調査と環境の解析 カビと文化財の関わりからカビの発生しやすい環境と生態を知り、文化財施設での調査法を理解します。また、調査結果から文化財環境の解析を行い評価します。 NPO法人カビ相談センター 理事長 高鳥浩介
	14:00~14:15	休憩
	14:15~15:15	防除処理に関する基礎知識 防除処理を実施するにあたっては、各処理方法の特徴を十分に把握し、目的にあったものを選択する必要があります。また用法用量を守り正しく処理しなければ効果が得られないこともあります。ここでは、処理時に注意すべき点についても解説します。 公益財団法人文化財虫菌害研究所 研究員 岩田泰幸
	15:15~15:30	休憩
	15:30~16:30	IPMの体制づくり 文化財IPMをすすめるためには、多様な人と目と行動が必要です。学芸員だけでなく事務系職員そして業務受託者、ボランティアなど立場異なる人々が協同でIPMに取り組むことができるような仕組み作りの基本となる考え方をお話しします。 九州国立博物館 名誉館員 本田光子

12月6日(金)	10:00~11:00	試験 試験科目 1 文化財IPMの概論と組織に関する問題 2 有害生物(虫・カビ)に関する問題 3 生物被害防除処理の基礎知識に関する問題 4 空調と施設管理に関する問題
	11:30~	東京国立博物館の見学(希望者のみ) 予定が変更になる場合があります。